

平成29年10月3日

都路中学校保護者 様

田村市立都路中学校長 田中 淳一

平成29年度 前期学校評価結果のお知らせ

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校教育活動へのご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、前期学校評価の集計結果概要についてお知らせいたします。生徒及び保護者の皆様からのご意見を今後の学校経営に生かしてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

1 保護者アンケートから課題と思われる項目

(「A当てはまる」・「Bやや当てはまる」と答えた割合が80%に満たなかった質問項目)

A・Bの割合 (%)

| | | |
|---|---------------------------------------|----|
| 4 | 子どもは、授業の内容がわかり、学習内容を理解している | 75 |
| 5 | 子どもは、家庭学習の習慣が身についている | 74 |
| 9 | 子どもは、3点固定(起床時間・家庭学習開始時間・就寝時間)に取り組んでいる | 69 |

- 「教育活動による生徒の様子」において、「A」・「B」の割合が高いのは、「子どもは、楽しく学校へ通っている」(93%)、「子どもは、思いやりの心が育ってきている」(96%)である。
- 「教職員」において、「A」・「B」の割合が高いのは、「教職員は、子どもを理解することに努め、一人一人を大切にされた支援をしている」(95%)、「教職員は、子どものことについて相談に親身に応じてくれる」(92%)である。
- 「学校経営」において、「A」・「B」の割合が高いのは、「学校は、いじめのない学校づくりに努めている」(91%)、「学校は、地域の素材や人材を教育活動に活用している」(90%)、「学校の施設や環境は、子どもが安全に安心して学習できるように整備されている」(94%)、「学校は、保護者や地域に学校の取り組みや子どもの様子を分かりやすく伝えている」(92%)である。
- 「PTA」において、「A」・「B」の割合が高いのは、「PTA活動は、学校と協力して行われている」(100%)である。
- 上記のとおり、子どもたちの学習面や規則正しい生活については、学校はもとより家庭とも連携・協働して課題解決に取り組む必要がある。
- 子どもたちの志を育むキャリア教育、道徳教育、部活動においては、学校と保護者・地域社会がさらに連携・協働して取り組む必要がある。

2 生徒アンケートから課題と思われる項目

(「A当てはまる」・「Bやや当てはまる」と答えた割合が80%に満たなかった質問項目)

A・Bの割合 (%)

| | | |
|---|----------------------------------|----|
| 9 | 3点固定(起床時間・家庭学習開始時間・就寝時間)に取り組んでいる | 74 |
|---|----------------------------------|----|

- 「教育活動による生徒の様子」において、「A」・「B」の割合が高いのは、「楽しく学校へ通っている」(96%)、「将来の夢や目標(志)をもっている」(94%)、「家庭学習の習慣が身についている」(90%)、「よい友人関係ができてきている」(97%)、「『田村っ子ルール10』を守って生活している」(92%)、「思いやりの心が育ってきている」(94%)、「目標をもって部活動に取り組んでいる」(98%)である。
- 「教職員」において、「A」・「B」の割合が高いのは、「先生は、分かりやすい授業のために授業の進め方を工夫している」(98%)、「先生は、生徒を理解することに努め、一人一人を大切にされた支援をしている」(100%)、「先生は、相談に親身に応じてくれる」(100%)である。
- 「3点固定」については、子どもと保護者が課題意識を共有している。